Δ

本

祉

地

址

長

沙

皇

倉

坪

四

ť

號

¥

Δ

中

政

特

准

掛

號

Ż

券

之

報

紙

V

現已恢復過報。

第五 第五 第五 第五 第五 第五 東東北。 第五 東東北。 第五 東東北。 第五 東東北。 第一 東東北。 新一 東東北。 刻仍向前推進。 中央社。绘州九日常。九日晚。济智性赔得。我縣退。 鄒犯 段 地。津浦北段電影河時。今 至泗水橋 重 쀠 事 分支公司及代理或通数 大陸 國華 東泉 新衛院全華所資本維 越 界河 每晚到以探照级内的。 一块社。绘州九日础。 一块社。安康九日 中央社。安康九日 中央社 擊退 現已 現已無敵軍的軍場 **美**進 驗 踪跡 眾 氣 **乳痛肝** 1911 寶安等 本等東東等切與相自自租 子等來更多有效與相自自租 原放 與工商自身。 原於工商自身。 原於工商自身。 原於工商自身。 原於工商自身。 東京縣公司, 東京等。 東京等。 東京等, 中央社。徐州九日軍中央社。徐州九日軍中央社。徐州北召等。北海烈率某長官戰召。然海烈率某長官戰召。然帝司马斯曹德遇如灾。 東三角 内閣前慢性久林寿蘭所状立 中瀬 青 服 沐 選 奇 以神治・原後 赤白河 吉 服 沐 選 奇 い 事 石 友

青島外港

競掛報電壯本》

◀ 就五四一部班無所能計本 號五五八部群網 號 五 四 五 三 第 報

★ ……張大貴出

大東大北水線。八日晚春中央社香港九日電。 ď

0 

不**流通市面。** 不**流通市面。** 陝訊誌要

华伦

行

法律 77 信律師 事顧劉 務 門特此通告亦語源級長級巨 所 列

1

開土

**罗縣飲速茲光**稱 李提倡國貨大推銷

最

近 的

晉

省局

勢

訪

問

ò

和敵人有一場死許」

• (積)

中各縣之敵

報日民國南湖 一期星 有机型类派立二十餘次,負債淡南梁即将,本公司基保鄉故軍請入回九號,可以在以後即1. 機能是與自民國人等認其等等。第二次,在公司一員委開日,我們一一一個一一一個一一一個一一一個一一一個一一一個一一一個一一 英增强遠一 現在於別數或資務。雖簡別。英布別加泰與香港之來單數力。亦約增與。惟控單方面。一時也不致加潔证之計論。即將官與。安作於以上之計論。即將官與,安作於以上之計論。即於一國一時,可經經東京。安集中中諸國等,守政蔣宗月內。 東京,日本語電。因上孫英日奉作公廷生。二國四王國領、伊德斯德、安政界人士。政府委府崇兵在, 東京 英相强 决與美法談話討論日提要求 與僚屬今商應付遠東時局 遠東軍力計劃即將實現 這更軍力計劃即將實現 决 與遠 世人所必か可忘者。即会 方列県在華地位之第一次 方列県在華地位之第一次 方列県在華地位之第一次 海 新 事 件 長沙布州大樂房無理排 南獭 產特 護命野賓 一銀行響中國保險公司将事 買一送一四季宜服 六街集長 鍵 Д王沙 件來 明節 白 濁 大 文章人、李清· 大学 人名 中 大学 人名 人名 大学 八角字編源基州安府提內三十年 海童を催一九二番者打 十二元以外以及公司 打六元、外は市代学 打六元、外は市代学 打か元元、外は市代学 打かるのでは 打かるのでは 打かるのでは 打かるのでは 打かるのでは 打かるのでは 打かるのでは 大力のであるのです。 であるのでは 大力のであるのです。 であるのでは 大力のであるのです。 であるのでは 大力のであるのです。 であるのでは 大力のであるのです。 であるのでは 大力のであるのでは 大力のであるのです。 であるのでは 大力のであるのでは 大力のであるのである。 であるのでは 大力のであるのである。 であるのであるのである。 であるのであるのである。 B 機勝保信資潔 熱數食用力回 迎逃程卓維利 均速機厚實着

被實精負頭(同日教七折發售 本廠用與水及科學方法提解 本廠用與水及科學方法提解 新行發力

和保管委員會云。茲稱 和保管委員會云。茲稱 以預物品。應承行规定 。以預物品。應承行规定 。 2000年 2000年

○ 上次 ○ 上、 ○ 上

省合各縣協助民訓工作湖南省民調幹部調練班縣員。定本(十

(=)

高工校 製廳慰留 全請解職

如下・县悉。現位非常、近間教育政治令域的、近間教育政治令域的、犯委員能沒得機可以表別的政治。

名單。亦定於明(十)日發表。

張主 通 各

本省兵 役 徵 洪 辨 募

0

0

江蘇避難同鄉

處理管兵傷

組長沙通訊處

**地照。並轉售合作指導** 遊照。並轉售合作指導

為普

遍 慰

勞 傷 兵

作

葉故上將

粗籍 中委 故軍事參議院泰議

函約武進戰時流動宣傳隊談 召 集 各 **並** 放慰 勞 會 慰 Î 勞 組作 \* 議

> 費嚴兩氏。以葉故上將 **勞病故。同深悼惜。茲** 陸軍上將薬開鑫氏。因

。遊忠黨國。功勛昭著

本積

防煙民期兩機關電令各縣 。特聯名電話中央明合 經鄉。而安遵派云。 (武)

消息•及新聞一次。(與各地通訊處稱週互通 介紹並代第1作。(七)

八)難民及避難同鄉委

農產貿易 省令建廳 計劃調整 。比即乘車轉赴前

0

省府以本省農產極

抗敵總會修 分會

本會規定式程。自行刊 任之。(如名點市外會結認。由 少在三組以上,第八條 少在三組以上,第八條 。各縣市外會結認。由 泰市港市人。由各分會 市市港平人。由常務委員會聯任之。 由常務委員會聯任之。 由常務委員會聯任之。 由常務委員會聯任之。 由常務委員會聯任之。

**出相織規程由各該分**介

4.7.7
4.7.7
4.7.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6.7
6 株・着・便・服取の部・昨行文本省云・捷各地後方唇陰改容之場百定本日由淡飛省・此間當局已準備款迎云。(深)( (土)備考。 (三)継勞項目。(四)所在院(所)內實容負傷員失者干。 (五)傷兵生活狀况及其迫切需要。(六)継勞所得之總融員或者に (土)備考。

此函達。即看轉修道

慰勞云。 (策)

收。以便定解前方藉資 淡車站。轉解省總會驗 縣府解乾城。南高赴鎮 共計八大箱。於日昨由 悉已募集鞋襪棉背心。

七月一日施行云。

重行支配慰勞日期地點定期施行 後方負傷官兵禁着便服車會派員來湘檢查傷兵

西屬試驗場

保安處工

那所有該局名**義**亦同日子**安全。事**商局以

等十九師負傷官長母 軍務型十六郎時最多 軍務型十六郎本師通訊或報用面班也 新型十六郎本師通訊或報用面班也 新型十六郎本師

経験与

(題)

八元飾遊辦在案除備告外特此公告告前近天號本處二十七年一具正句告前近與定為總錦五百十七年一具正句 電各縣 商 會 協 贊 新 政

南美通町 へと、教を明本の大変戦の 東川志順等保留書

昨夢

召備

司

令

集區坊保甲

訓

話

:滅奸宄加强自衞力量:鞏衞地方須共同負責

社會

新

M

陸

豐井地

詠美

啓買

遺 失聲明 紙符號一枚除星根加發外特此隻有陸軍第十一師六十二期一

汽

行 懸駛 器油 體潭 搬通

東站傳票隨時間車票值 地名 现值 医外侧 电阻电压磁散 电阻电压磁散 电阻电压磁散

育長英 

地 散 書 

司 葉

徳 頭 輝

雙 梅

海负责现然不典接们人及該偷 防水實來服索接们所有以前來 財器用什物等項版由桑賴技權

京百八十元生郷三百三十一元郷養五百零三句長や総品牧僧衆総見敬、軍事委員會 金郎 ま、管 理 展 公

及生 が開発している。 刊內 一切住來糾 所想保甲長及衛 子

**清查戶糧** 與數規定獎集辦法 明川粉瓶由出瓜人童沛 明川粉瓶由出瓜人童沛 明本精質出疏移轉與 原子格 公婆

簡組發外勢此聲明价者作例生可非 李仍然原設人將來還情